

※統合報告書参照ページ:61、64ページ

表: 職務レベルに応じた環境教育(2022年度実績)

透明性・信頼性への取組み

環境マネジメントレベルの向上

J-POWERグループ各事業所で環境マネジメントシステム(EMS)を導 入し、環境行動計画の策定、定期的な取り組み状況の把握と評価、取 り組み方策の見直しを行い環境マネジメントレベルの継続的な改善に 取り組んでいます。

また、さまざまな環境負荷を伴う事業の当事者として、従業員一人 ひとりがJ-POWERグループとしての環境管理を理解し、それぞれの役 割に対する責任感を忘れないよう、職務レベルに応じた環境教育を 行っています。(右図)

このほか、廃棄物処理業 務に特化したスキルアップ 研修を業務経験に合わせて 開催。また、産廃コンサル タントによる現地視察も毎 年実施しています。

全従業員に対しては、環 境に関する e ラーニングを 毎年開催するほか、現地-本 店のコミュニケーションを 円滑化する情報交流会も多 くの地点と開催しています。

廃棄物処理業務スキルアップ研修

(2022年度ビギナー編150名、スタンダード編113名) 廃棄物処理担当となった社員を主な対象として、法規 制や解釈事例を踏まえて実務スキルアップをねらう。

廃棄物処理リスク診断(3地点)

毎年、産廃コンサルタントと共に数地点を視察。 廃棄物処理業務の適切な執行を診断し、改善点があれ ば対象以外の地点にも広く展開。

環境 e ラーニング (受講率: 86.0%)

職務や経験年数に寄らず、広く環境問題意識を浸透さ せるため、全従業員を対象に毎年、eラーニングを開

環境情報交流会(99地点)

本店環境部門と各事業所の環境管理責任者および担当 者と情報交流。社会のうごきや法改正に関する連絡。 環境管理の継続的改善に関する意見交換など。

環境法令研修(174名) 主に若年社員を対象に、火力・水力・土木それぞ 若年社員 れ事業活動に関連する環境法令の基礎知識を習得。 内部環境監査員養成研修(2022年度73名) EMS内部監査員資格の修得を通じて、 EMSの仕組みを基礎から学び直す。 中堅社員 内部環境監査員フォローアップ研修(14名) EMS内部監査の経験者を対象に、更なる 理解と継続的改善のためのポイント等につ いてフォローアップする。 EMS管理者·事務局研修(15名) 環境管理責任者 経営層等とコミュニケーションを取り、実 運営担当者 際にEMSを運営していくコア人材を育成 する。

(管理職)

経営層

廃棄物

全従業員

環境講演会(106名)

経営層や環境管理責任者へ向けて、環境にまつわ る課題や社会の動向について、毎年専門家による 講演会を開催。